

# 山ぼうし

第13号 平成18年 4月20日

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、  
花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし  
の碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。



## 困難を乗り越える努力を!

校長 及川 敏 昭

**新入生**諸君、伝統ある本校に入学おめでとう。

**皆さん**は多くの人々からおめでとうの励ましの声援を送られたことと思います。その意味するところは漢字の当て字「御目出渡」が示すように、これからの高校生活で人間的に大きく成長が期待される芽が皆さんに出たことの喜びの気持ちが込められています。

**これから**始まる高校生活は人生で一度きりです。楽しいことも沢山ありますし、また困難なことに数多く直面するかもしれません。決して逃げないで、それらを乗り越えて新しい芽を大きく伸ばしてほしいものです。

**麦**は踏まれて強く育つと言われていきます。試練を乗り越える毎日の努力が大切です。今の自分にできることを精一杯頑張り、はっきりとした目標を持ち、有意義で輝きのある、とっておきの三年間にして下さい。

**また**、二、三年生は新入生との新たな「出会い」が始まりました。学校は常に良き友との出会いの場です。一生交際の続く出会いの始まりかも知れません。戸惑う新入生にどんな小さなことやつまらないことでもいい、先輩として厳しい中にも優しく思いやりをもって接し、一日も早く生徒会の一員として迎え、本校の戦力となるように指導して頂きたいと思います。

**5日間**の応援歌練習も終わりました。先輩と後輩を一本に結ぶものは校歌・応援歌です。校歌・応援歌をいつまでも忘れず大事にして欲しいと思います。

厳しい応援歌練習を乗り越えたという自信と勇気を持ってこの4月を乗り越えて下さい。試練の先には必ず夢と希望が待っているはずですよ。

### <新任の先生方>

①氏名 ②前任校 ③担当教科 ④座右の銘



①杉山 元基  
(すぎやまもとぎ)  
②福岡工業高校  
③工業(機械科)  
④ほうれんそう



①佐々木 治彦  
(ささきはるひこ)  
②宮古商業高校  
③保健体育  
④てんびん



①昆 和夫  
(こんかずお)  
②黒沢尻工業高校  
③工業(電気科)  
④笑う門には福



①菊池 雄高  
(きくちゆたか)  
②水沢工業高校  
③数学  
④男気



①小関 千春  
(こせきはる)  
②福島大学  
③理科(実習)  
④一期一会

### 4・5月行事予定

4月21日(金) 歯科検診  
4月25日(火) 尿検査  
4月27日(木) 心臓検診(1年)



5月 9日(火) 胸部X線撮影(1年)  
5月13日(土) PTA総会  
5月15日(月) ~19日 学校へいこう週間

# 入学式挙行！

「平成18年度入学式」が4月7日（金）挙行されました。式では来賓、保護者、教職員が見守る中、新しい制服に身を包んだ新入生が一人ずつ名前を呼ばれ、機械科39名、電気電子科40名、建築設備科35名、計114名の入学が許可されました。

及川校長は「高等学校は義務教育とはことなり、高い向学心と技術を身につけようとする人達の教育の場である。そのため、強い意志と自覚、将来を見ずえた意欲と努力が求められている。自分をよく見つめ、自分をよく高める努力を続けてほしい」と式辞を述べました。

新入生を代表して、機械科の佐藤彰君が「私たちは常に目的意識を持ち、工業高校でなすべきことに精一杯努力して活気に充ちた学校を創っていきたい」と決意を述べました。

今年の新入生から学科改編により3学科体制となります。また、新たに科名変更も行われ、新入生には新しい歴史を築いていってほしいと願っています。



## 全国高等学校選抜卓球大会に出場して

3月26日から28日まで広島県立総合体育館で開催された第33回全国高等学校選抜卓球大会（個人戦の部）に、本県代表として、本校機械科3年の中村真大（まさとも）君が出場した。1月15日におこなわれた同大会の県予選では、代表1名の座を約300人のトーナメントによって争われたが、決勝戦は中村君と電子機械科3年の盛合和昌君との本校選手同士の対戦となり、激戦の末、勝った中村君が本校初の全国選拔出場を果たした。本校卓球部では、今年1月に菅野文矢君が全日本卓球選手権（ジュニアの部）に本校初の出場を果たしたが、それに続く快挙となった。

全国選抜の個人戦は、全国各から48名が参加し、3人ずつ16のブロックに分かれて予選リーグをおこなった。中村君は、初戦で東京都代表の安部選手（都立西高校）と対戦したが、フルセットの接戦の末、惜しくも勝利を逃した。続く2戦目は、鳥取県代表の山本選手（倉吉東高校）と対戦したが、持ち味である攻撃力が冴え、3-1で勝利をおさめた。結局、予選リーグ1勝1敗となり、目標としていた決勝トーナメント進出はならなかった。しかし、本人にとって初めての全国大会ながら、堂々とした試合運びで1勝をあげたことで、今後につながる大きな自信を得たと思う。中村君は、「初めての全国大会だったが、あまり緊張せずプレーすることができた。負けた相手は力が同じぐらいの選手であり、頑張れば勝てるレベルの相手であったが、試合で勝つことの難しさを改めて感じた。この経験を生かして、ぜひインターハイに出場したい。」とコメントしている。

本校卓球部は、昨年の県新人大会で学校対抗3位、続く選抜大会の学校対抗でも3位に入賞している。昨年度より県高体連の強化指定校にも選ばれており、今年は団体戦でのインターハイ出場も期待されている。今年度に入り、4月上旬には山形での3泊4日の合宿を行い、5月上旬には長野県で4泊5日の合宿を予定するなど、更に一層の強化を進めている。持ち前のチャレンジ精神をフルに発揮して、今年本校卓球部初のインターハイ出場をめざしてほしい。

最後に、今回の全国選拔出場に関して、多くの方々から激励の言葉を頂戴しました。この場をお借りし御礼申し上げます。

